記 者 発 表 資 料

平成２４年度 能代河川国道事務所の事業概要について

能代河川国道事務所は、
予算額　※１２７億１，０４０万円をもって
川づくり、道路づくりを通じて
県北地域の発展を支援していきます。

※　業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載

【予算の概要】
平成２４年度　能代河川国道事務所の予算配分額は

河川関係	１８億　９，５４０万円
道路関係	１０８億　１，５００万円
合　計	１２７億　１，０４０万円

【主な事業の内容】
（河川）　○ 米代川河川改修事業
　　－ 河道掘削・堤防強化等の推進

（道路）　○ 二ツ井今泉道路　－　**新規事業化**　調査設計に着手
　　○ 鷹巣大館道路　－　用地買収及び改良・橋梁・トンネル工事の推進
　　○ 大館西道路　－　改良・橋梁工事の推進
　　○ 日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂(新直轄区間)
　　－　用地買収及び改良・トンネル・舗装工事の推進
　　○ 大曲歩道整備　－　**新規事業化**　調査設計に着手
　　○ 長走登坂車線整備－　用地調査・買収、一部工事着手
　　○ 陣場視距改良　－　工事等の継続推進・完成

平成２４年４月６日
国土交通省 能代河川国道事務所

発表記者会：秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　能代河川国道事務所
能代市鰄渕字一本柳９７－１
TEL.０１８５－７０－１００１(代表)
【河川関係】
副　所　長　栗田（くりた）　信博（のぶひろ）（内線204）
工務第一課長　天野（あまの）　厚毅（こうき）（内線311）
【道路関係】
副　所　長　佐藤（さとう）　寿昭（としあき）（内線205）
工務第二課長　鈴木（すずき）　之（いたる）（内線411）

平成２４年度　能代河川国道事務所の事業概要

能代河川国道事務所は

川づくり、道路づくりを通じて、県北地域の発展を支援していきます。

予算の配分額内訳（単位：百万円）

	Ｈ２３年度 当　初	Ｈ２４年度 当　初	倍率 H24/H23
河　川　関　係	１，５１７．１	１，８９５．４	１．２５
道　路　関　係	９，４５９．０	１０，８１５．０	１．１４
能代河川国道事務所計	１０，９７６．１	１２，７１０．４	１．１６

※　業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

１．河川事業の概要

《　米代川河川改修事業　》

本事業は平成２２年３月に策定された米代川水系河川整備計画に基づき、出水による氾濫域や生命･財産が集中する地域において、戦後におきた最大規模（S26.7（上流部）及びS47.7（下流部））の洪水流量を安全に流下させることが出来るよう河川改修事業を実施します。

米代川河道掘削　【ｐ４】

河道内の土砂を掘削することで、河道の流下能力向上を図り、災害のない地域づくりを目指すものです。

平成２４年度は二ツ井地区及び外面地区において、河道掘削を実施します。

米代川堤防強化　【ｐ５】

堤防詳細点検の見直しの結果、対策が必要とされた箇所において対策工を実施します。
平成２４年度は切石地区において、対策工事を実施します。

《　米代川河川工作物関連応急対策事業　》

河川工作物において工作物点検を実施し、変状等が確認された箇所について応急対策を行います。

２．道路事業の概要

《　改築事業　》

強い県北地域の創造と地域生活の安全安心の確保に向け、空港･港湾のカバー圏拡大、広域的な交流・連携の促進、高次医療施設カバー圏の拡大、道路のネットワーク化による迂回路確保、国道７号の交通混雑緩和や交通事故削減に効果のある高規格幹線道路等の整備を進めます。

一般国道７号　二ツ井今泉道路（能代市～北秋田市）**新規事業化**【ｐ６】

・能代市二ツ井町小繋～北秋田市今泉間　　延長４．５ｋｍ

平成２４年度は、調査設計に着手します。

一般国道７号　鷹巣大館道路　（北秋田市～大館市）【ｐ７】

・北秋田市脇神～北秋田市栄間　延長５．６ｋｍ

平成２４年度は､用地買収及び改良工事の継続推進を図るとともに栄トンネル(延長５６２ｍ)の掘削巻立の継続推進を図ります。

・北秋田市栄～大館市櫃崎間　延長８．３ｋｍ

平成２４年度は、用地買収及び改良工事の継続推進を図ります。

一般国道７号　大館西道路　（大館市）【ｐ８】

・大館北ＩＣ（仮称）～大館市商人留間　延長１．６ｋｍ

平成２４年度は、改良工事及び釈迦内こ線橋（延長１６３ｍ）工事等の継続推進を図ります。

《　改築事業（新直轄）　》

日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂　（大館市～鹿角郡小坂町）

・大館市商人留～鹿角郡小坂町小坂間　　延長１４ｋｍ【ｐ９】

平成２４年度は、用地買収、改良工事、トンネル２箇所（大茂内第二トンネル：延長２，９８８ｍ、雪沢第一トンネル：延長２，５５３ｍ）の舗装工事の継続推進及びトンネル機械設備等に着手します。

《　交通安全対策事業　》

交通事故の多発箇所等の交通の安全を確保するために、線形の改良、通学路区間の歩道設置・拡幅を行います。

秋田７号交差点改良等（大曲歩道整備）　（三種町）**新規事業化**　延長１．５ｋｍ

【ｐ１０】

平成２４年度は、調査設計に着手します。

秋田７号交差点改良等（白沢歩道整備）　（大館市）　延長１．９ｋｍ

平成２４年度は、工事等を継続推進し完成を図ります。

秋田７号交差点改良等（長走歩道整備）　（大館市）　延長１．８ｋｍ

平成２４年度は、工事等を継続推進し完成を図ります。

秋田７号交差点改良等（長走登坂車線整備）　（大館市）　延長１．４ｋｍ【ｐ１１】

平成２４年度は、用地調査・買収、一部工事に着手します。

秋田７号交差点改良等（陣場視距改良）　（大館市）　延長１．０ｋｍ【ｐ１２】

平成２４年度は、工事等を継続推進し完成を図ります。

事業名	米代川（よねしろがわ）　河川改修事業 （秋田県能代市（のしろし））

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成28年度以降

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

昭和47年7月や平成19年9月の豪雨により、米代川では各地で甚大な被害を受けました。このことから、再度災害の防止を図るため、米代川における河川整備が求められています。

今後の米代川における河川改修は、流下能力を確保するため主事業として河道掘削を実施していきます。

「事業の概要」

米代川本川において河道掘削を行い、流下能力の向上を図ります。

平成24年度は、二ツ井右岸地区の河道掘削を継続して行うと共に、外面地区の河道掘削を行います。





平成19年9月出水状況（能代市二ツ井町）



河道掘削状況

平成２４年度の予定

○二ツ井右岸地区においては、河道掘削工事を継続します。
○外面地区においては、用地補償及び河道掘削工事を実施します。
○平成24年度の工事関係費：1，765百万円

事　業　効　果

○流下能力の向上が図られ、家屋の浸水被害の軽減が図られます。

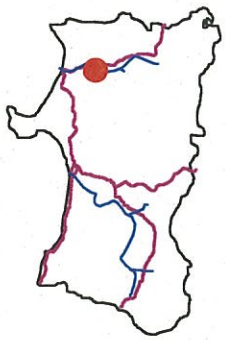
事業区分：治水事業

事業名	米代川（よねしろがわ）　切石（きりいし）地区堤防質的整備 （秋田県能代（のしろ）市）

事業着手：平成24年度	完成・供用の目標年度：平成24年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

米代川の下流域に位置する能代市の切石地区は、概ね堤防が完成しています。しかし、堤防の詳細点検を実施した結果、洪水時には河川水が堤防に浸透することにより、堤防が決壊する恐れもあることから、堤防の質的強化が必要です。

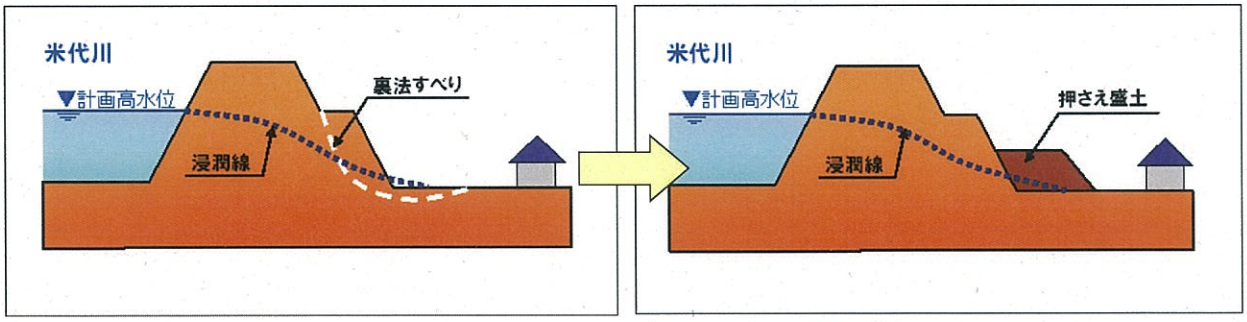
「事業の概要」

洪水による堤防の安全性を確保するため、能代市切石地区において、川裏側の法面保護工（押さえ盛土等）を実施します。





【現況】　　【対策工】



平成２４年度の予定

○堤防の質的強化が必要な一連区間について、用地補償・川裏側の法面保護工（押さえ盛土等）を実施します。
○平成24年度の工事関係費：92百万円

事　業　効　果

○一連区間を対策することにより、市街地が洪水から守られると共に、堤防の質的向上が図られます。

【新規】
事業名

一般国道7号　二ツ井今泉道路（直轄）
（秋田県能代市～北秋田市）

事業着手：平成24年度

事業の必要性・事業の概要

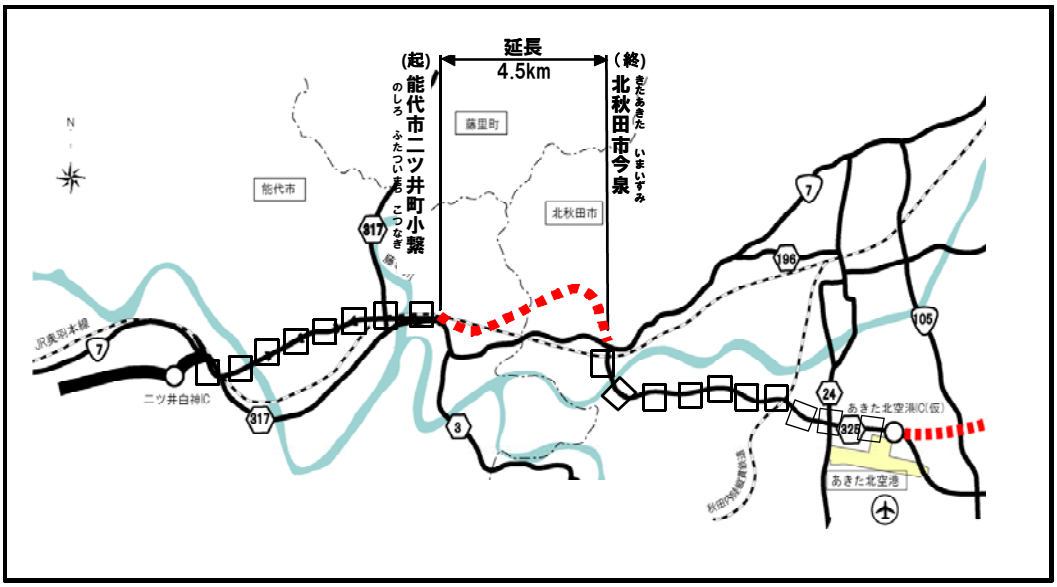


「事業の必要性」

秋田県北地域においては、一般国道7号の交通混雑の緩和及び高速交通ネットワーク形成による県内及び北東北3県との地域間交流の促進、リサイクルポート能代港・大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

「事業の概要」

二ツ井今泉道路は、延長4.5kmの自動車専用道路で、平成24年度に新規事業化されました。







▲能代市二ツ井地区から北秋田市を望む

平成24年度の予定

○調査設計に着手します。
○平成24年度の工事関係費：100百万円

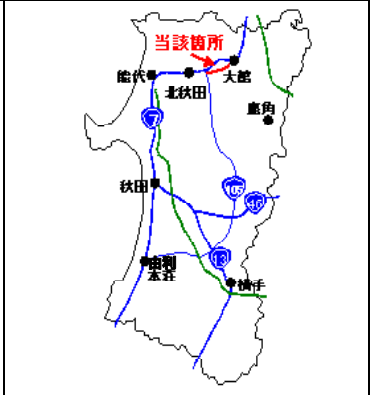
事　業　効　果

○能代港60分圏域及び大館能代空港30分圏域カバー率の拡大が図られます。
○高次医療施設（北秋田市）60分圏域カバー率の拡大が図られます。
○災害・事故発生時の迂回時間の短縮が図られます。

事業名	一般国道7号　鷹巣大館道路（直轄） （秋田県北秋田市～大館市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成28年度以降

事業の必要性・事業の概要



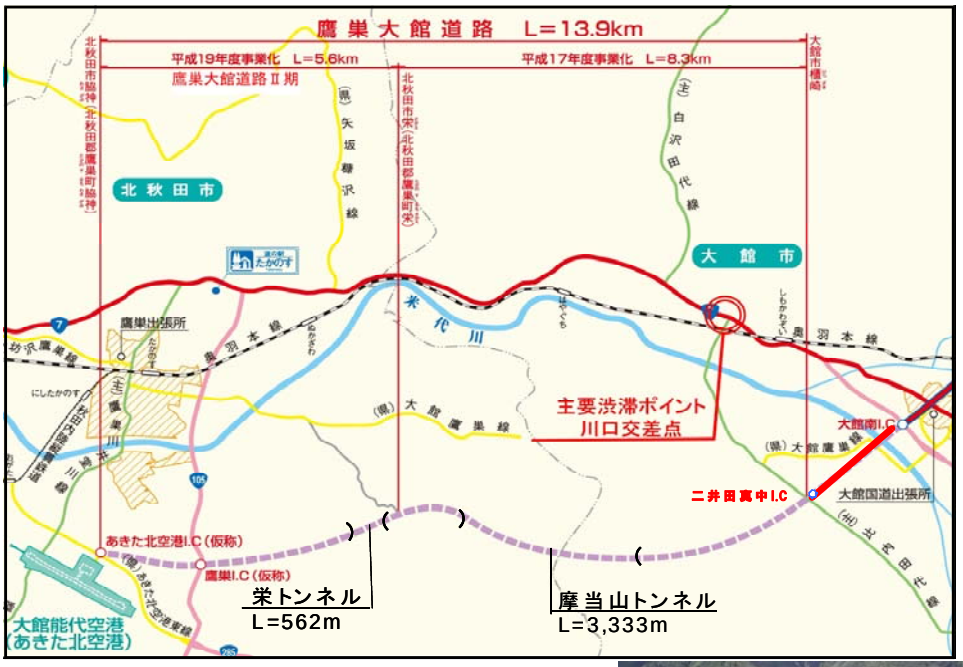
「事業の必要性」

国道7号では大館市内をはじめとし、朝の通勤時間帯及び冬期間に渋滞が発生しています。また、高次医療施設の60分圏域カバー率の拡大、地域産業の活性化や企業誘致拡大のための、リサイクルポート能代港及び大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

さらに、災害・事故発生時の国道7号の迂回路としての機能も持つ代替ルートも必要とされています。

「事業の概要」

鷹巣大館道路は、延長13.9kmの自動車専用道路で、平成18年度から用地買収及び工事に着手し事業を進めています。





▲北秋田市栄地区から摩当山トンネルを望む



▲大館市櫃崎地区から摩当山トンネルを望む

平成24年度の予定

○北秋田市脇神～栄間においては、用地買収及び改良工事の継続推進を図るとともに栄トンネル（延長562m）の掘削巻立の継続推進を図ります。
○北秋田市栄～大館市櫃崎間においては、用地買収及び改良工事の継続推進を図ります。
○平成24年度の工事関係費：2，400百万円

事　業　効　果

○既設道路での交通渋滞の緩和・交通事故の削減が図られます。
○能代港60分圏域及び大館能代空港30分圏域カバー率の拡大が図られます。
○高次医療施設（北秋田市）60分圏域カバー率の拡大が図られます。
○災害・事故発生時の迂回時間の短縮が図られます。

事業名	一般国道7号　大館西道路（直轄） （秋田県大館市）
事業着手：昭和57年度	完成・供用の目標年度：平成25年度1.6km部分暫定2車線供用

事業の必要性・事業の概要



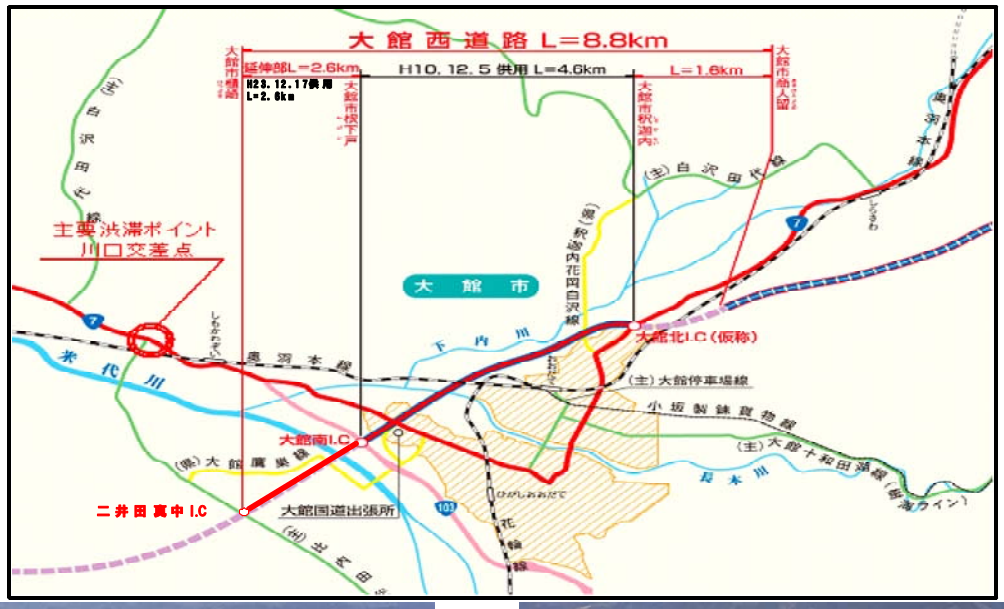
「事業の必要性」

国道7号では大館市内をはじめとし、朝の通勤時間帯及び冬期間に渋滞が発生しています。また、高次医療施設の60分圏域カバー率の拡大、地域産業の活性化や企業誘致拡大のための、リサイクルポート能代港及び大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

さらに、災害・事故発生時の国道7号の迂回路としての機能も持つ代替ルートも必要とされています。

「事業の概要」

大館西道路は延長8.8kmの自動車専用道路で、二井田真中IC～大館市釈迦内（しゃかない）までの7.2kmについては供用済みであり、残る大館市釈迦内～大館市商人留（あきひとどめ）までの延長1.6kmについて事業を進めます。





▲大館南IC付近から大館市釈迦内地区方向を望む



▲大館北IC（仮称）付近から商人留地区を望む

平成24年度の予定

○改良工事及び釈迦内こ線橋（延長163m）等工事の継続推進を図ります。
○平成24年度の工事関係費：1，401百万円

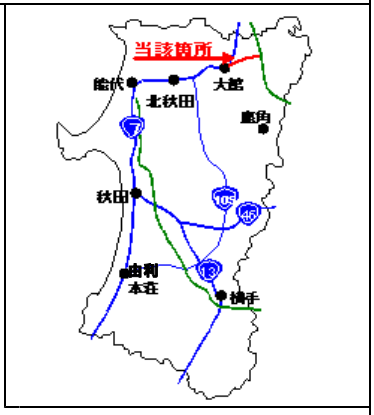
事　業　効　果

○交通渋滞の緩和・交通事故の削減が図られます。
○能代港60分圏域及び大館能代空港30分圏域カバー率の拡大が図られます。
○高次医療施設（北秋田市）60分圏域カバー率の拡大が図られます。

事業名	日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂（新直轄） （秋田県大館市～鹿角郡小坂町）

事業着手：平成10年度	完成・供用の目標年度：平成25年度

事業の必要性・事業の概要



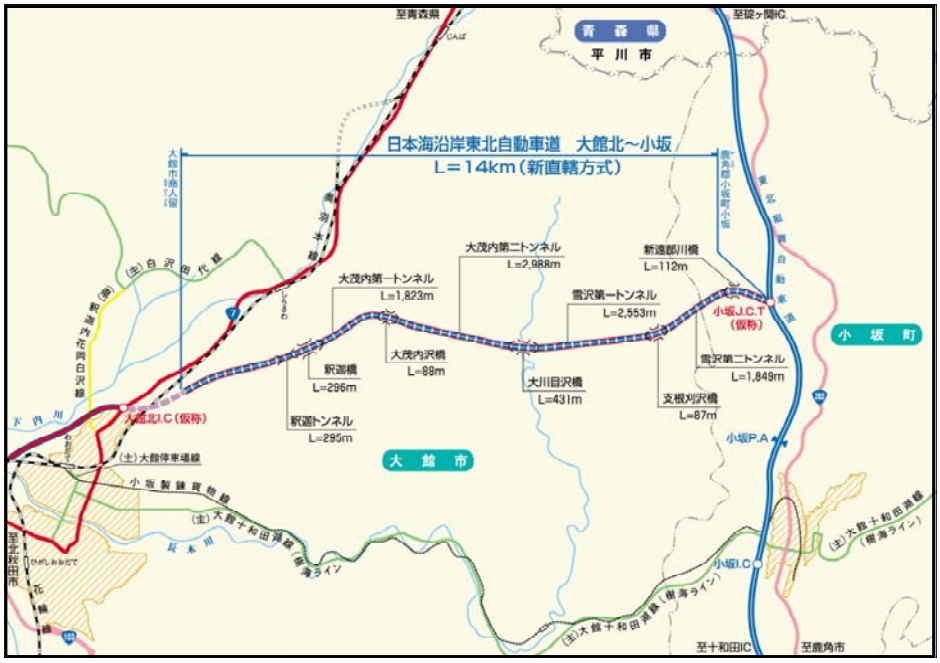
「事業の必要性」

秋田県北地域においては、一般国道7号の交通混雑の緩和及び高速交通ネットワーク形成による県内及び北東北3県との地域間交流の促進、リサイクルポート能代港・大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

「事業の概要」

日本海沿岸東北自動車道大館北～小坂は大館市と鹿角郡小坂町を結ぶ延長14kmの区間であり、延長の75％が橋梁及びトンネルとなっています。

平成16年度から新直轄方式により国土交通省で事業を進めています。





▲大館市商人留地区から釈迦トンネルを望む



▲小坂JCT（仮称）

平成24年度の予定

○用地買収、改良工事、トンネル2箇所（大茂内第二トンネル：延長2，988m、雪沢第一トンネル：延長2，553m）の舗装工事の継続推進及びトンネル機械設備等に着手します。
○平成24年度の工事関係費：5，800百万円

事　業　効　果

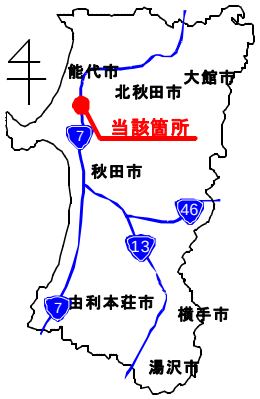
○高速交通ネットワークによる広域観光ルートが拡大します。
○エコタウン（秋田県北地域エコタウン計画）とリサイクルポート能代港の結節が強化されます。
○災害・事故発生時の迂回時間の短縮が図られます。

【新規】事業名	秋田7号交差点改良等（大曲歩道整備）（直轄） （秋田県山本郡三種町）

事業着手：平成24年度

事業の必要性・事業の概要

秋田県

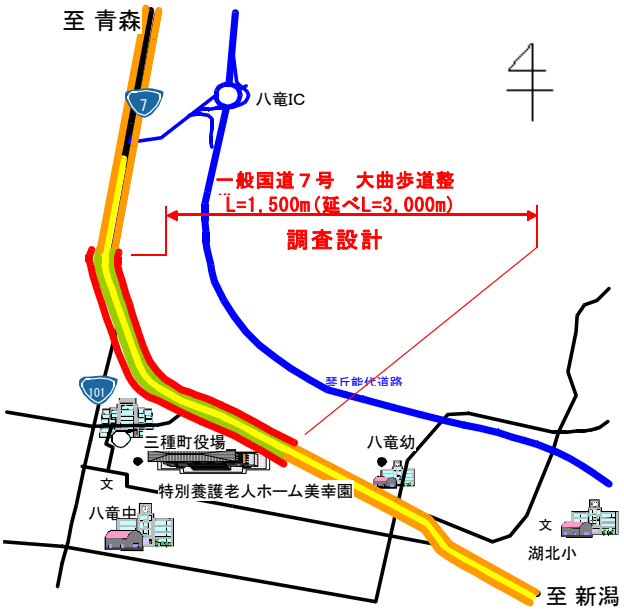


「事業の必要性」

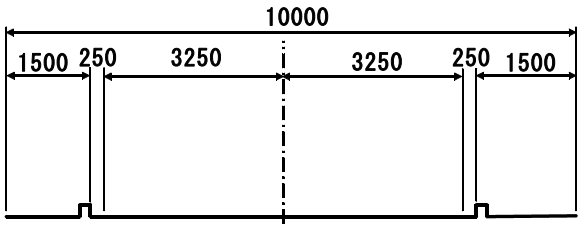
一般国道7号の山本郡三種町の当該箇所は、周辺に役場、小・中学校があり通学路指定区間であるが、歩道幅員が狭小であり、冬期には車道除雪による堆雪により歩行空間が無くなり、歩行者の通行に支障をきたしています。

「事業の概要」

歩道及び路肩の拡幅により、歩行者や自転車の安全確保を図ります。



▲計画位置図



▲現況横断図



▲冬期の状況



▲通学時の状況

平成24年度の予定

○平成24年度は、調査設計に着手します。
○平成24年度の工事関係費：69百万円

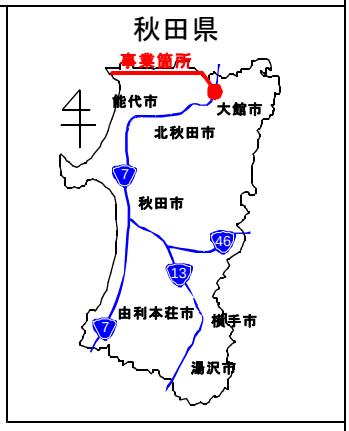
事　業　効　果

○歩行者や自転車の安全を確保します。

事業名	秋田7号交差点改良等　（長走登坂車線整備）（直轄） （秋田県大館市）

事業着手：平成23年度	完成・供用の目標年度：平成27年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

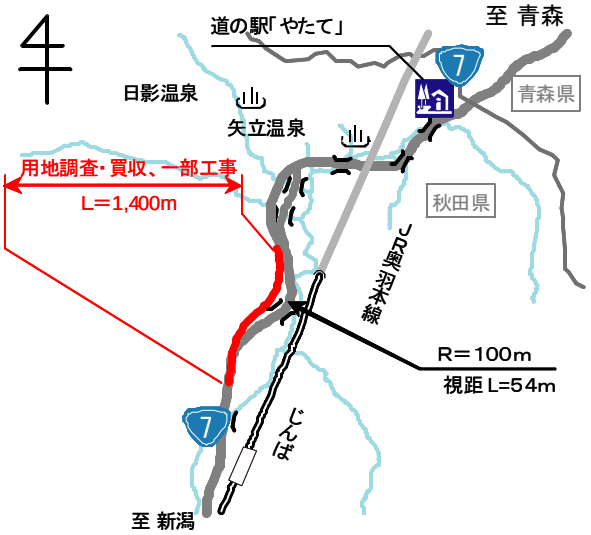


「事業の必要性」

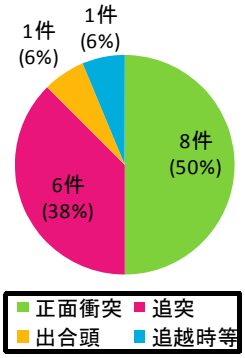
一般国道7号の秋田県と青森県境にある矢立峠は、山地部を通過する道路で、急カーブ（R=100m）かつ急勾配（i=5%）区間が連続しており、十分な視距も確保されておりません。特に、冬期の滑走による衝突事故や追突事故等が発生しており、事故防止及び交通の円滑化が求められています。

「事業の概要」

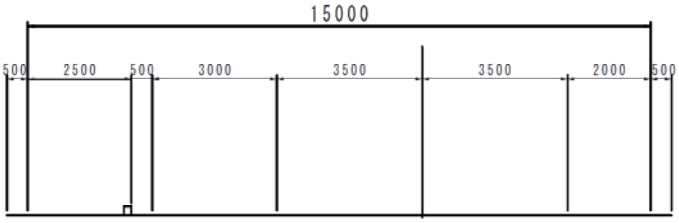
登坂車線を設置し、道路線形改良により急カーブを解消し交通の安全確保と交通の円滑化を図ります。



▲計画位置図



◀H8～H21に16件の死傷事故が発生した内の半数が正面衝突事故



▲計画横断図



▲交通事故発生状況



▲危険な追い越し状況

平成24年度の予定

○平成24年度は、用地調査・買収、一部工事に着手します。
○平成24年度の工事関係費：258百万円

事　業　効　果

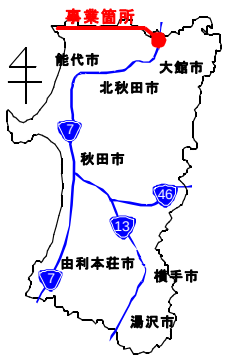
○登坂車線の設置、道路線形改良による急カーブ（Rmin=100m→300m）の解消により、交通事故の削減、交通の円滑化が図られます。

事業名	秋田7号交差点改良等　（陣場視距改良）（直轄） （秋田県大館市）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成24年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県

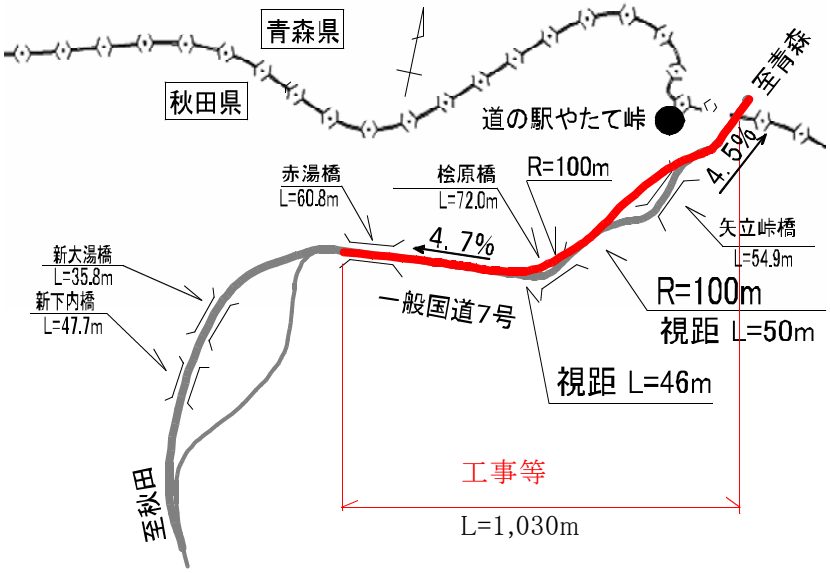


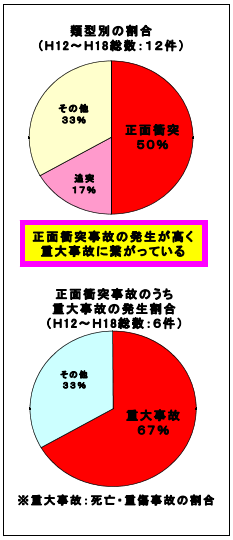
「事業の必要性」

一般国道7号の秋田県と青森県境にある矢立峠は、山地部を通過する道路で、急カーブ（Rmin=100m）、急勾配（i=4.7%）区間が連続しており、十分な視距も確保されておりません。特に、冬期の滑走による衝突事故や追突事故等が発生しており、事故防止及び交通の円滑化が求められています。

「事業の概要」

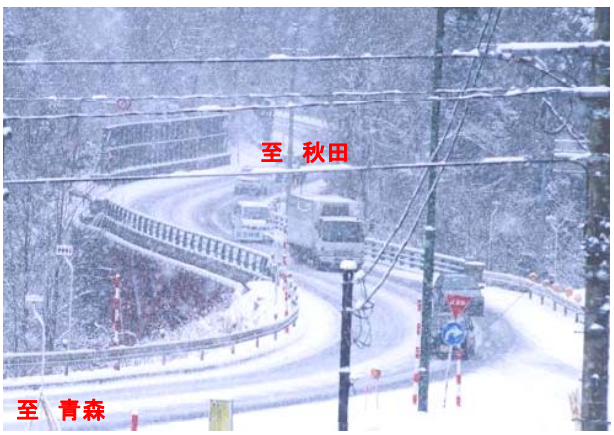
陣場視距改良は、線形改良により急カーブ、急勾配を解消し、交通事故の削減と交通の円滑化を図ります。







▲冬期交通状況



▲急カーブが連続する矢立峠

平成24年度の予定

○平成24年度は、引続き工事等を継続推進し完成を図ります。
○平成24年度の工事関係費：357百万円

事　業　効　果

○線形不良解消、急カーブ（Rmin=100m→200m）、急勾配（ゆずり合い車線整備）の解消により、安全性が向上し交通事故の削減が図られます。